

令和元年度実施 議会報告会・車座集会 参加者意見のまとめ

開催日:令和2年1月29日

場所:清水ふれあいセンター

開催地区:清水地区

項目	参加者意見	当日の答弁	調査結果（町回答）
道路関係	・スマート I C 周辺の土地利用について、町として早期に方向性を示すべきでは	・議会としてチェックしていかなければならない	・（仮称）山北スマート IC 周辺土地利用構想をまとめ町民には（概要版）を HP で周知する。
	・三保方面の道路はどこも行き止まりとなっている。災害発生時の避難路としても閉鎖している林道を開放してほしい。	・観光、防災等必要性は理解しており、関係自治体と議員連盟をつくり協議を進めている。何十年かかっても北へ抜ける道路の開通は言い続けたい。	・
	・スマートインターチェンジ周辺の土地利用計画は、関係団体・議会がそれぞれ案を作成し、整合性を図って町に提案すべき。	・	・総務環境常任委員会として、地元清水地域の「清水あり方研究会」と意見交換を予定している。
	・清水橋の信号から山北への 246 の渋滞に困っている。山北へ買い物にいけない。スマート IC でがきるなら改善してほしい。	課題の 1 つとして研究する。	・清水やまなみ橋から清水橋までの県道及び R246（山北方面）の拡張工事は、町としても重要と考えている。引き続き、国・県と協議を進めていく。
	・スマート IC ができるとますます渋滞する。清水橋をお金をかけずに矢印信号をつけたり、時間を変えたり左折レーン等歩道を削ったりしたりして改修してほしい。	・調査、研究する。	
	・秦野峠は通れないのか。林道をスーパー林道にしてしまえば通れるのではないか、もったいない。裏へ抜ける道が必要だ。	・崩落の危険と不法投棄の問題があるので今は県が一般車を通行させない。	・林道の規格では、災害に対して弱い。緊急時に安全と確認できれば通行できるような話し合いは進めている。
	・道の駅の駐車場がせまい。ふれあいビレッジと隣接していると良い。新東名の事務所を使えないか。須走の IC のように降りてすぐキャンプ場とセットになっていると休憩しやすい。	・地域みなさんと意見を出し合って町に提案していきたい。	・（仮称）山北スマート IC 周辺土地利用構想では、自然共生型定住・観光ゾーンとして道の駅の下に位置するオアシス公園の駐車場拡張を県と協議中である。また、道の駅とふれあいビレッジは、2 つの施設の連携を考えている。
	・スマート I C 周辺の土地利用について、清水ありかた研究会としては議会と意見交換をしたい	・総務委員会でもぜひやりたいと思っていた。意見をだしてもらい、意見交換しプッシュできるところはしていきたい。	・総務環境常任委員会として、地元清水地域の「清水あり方研究会」と意見交換を予定している。
	・スマート IC 周辺土地利用構想が出てくるのがあまりにも遅すぎる。 ・道の駅を谷峨地域の田んぼエリアへ移転し、スマート IC の出口からルート開通できないか。	・議会にも先日説明があったばかり。総務環境常任委員会の最重要項目として、今後調査研究に努め、様々な意見を行政に提言していきたい。	・（仮称）山北スマート IC 周辺土地利用構想をまとめ、町民には（概要版）を HP で周知する。 ・
	・とにかくインフラ整備。周辺道路は基盤整備を含め、安心安全な道路へ。北へ抜けるルートは、今後の災害を意識してトンネルで抜いたらどうか。	・	・
	・秦野峠林道は人を入れる方向で県に訴えるべき。現状 5 M 道路で立派な道であるし、当初の目的も地域振興林道として謳われていたはず。	・行政も協議会、議会も松田町と議員連盟を立ち上げ、何度も県へ要望しているが、難しい状況。今後も要望を継続していきたい。	・
	・やまなみ五湖をキーワードに、犬越路林道を復活することはできないのか。	・	・犬越路については、県と町とで研究している。

令和元年度実施 議会報告会・車座集会 参加者意見のまとめ

開催日：令和2年1月29日

場所：清水ふれあいセンター

開催地区：清水地区

項目	参加者意見	当日の答弁	調査結果（町回答）
交通関係	・ 町内循環バス・福祉バスなどの利用できないか	・ 利用には、いろいろ条件がある 三保地区でも、同じ様な問題を抱えている	・ 町では令和2年度から福祉タクシー券を富士急湘南バスで回数券としても利用できる制度に拡充する。循環バスの町内拡充は現時点では難しいが、交通網の再構築についてはワーキンググループで検討している。議会としても引き続き重要課題として調査研究を進めていく。
	・ 富士急湘南バスの助成券もあるといいのではないか。以前に検討していたとも聞くが。	・	
	・ ふれあいビレッジや道の駅の収益を自主財源として共和福祉バスのようなバスを走らせたい。	・	・
	・ 共和福祉バスの財源はどうなっているか。	・ 住民の会費と財産区から9割程、残りは町からの助成である。	・
鳥獣被害	・ 町内の猟友会会員が減少している、対策をして欲しい	・ ジビエについては、1市5町の事務レベルで検討していく予定。	・ 町内の猟友会会員は52名と増加している。 様々な支援制度は整備している。
	・ 町会議員に率先して、狩猟免許を取って協力して欲しい		
	・ サルが花火でも全然逃げない。撃退するエアガンみたいなもの（痛みを与えるもの）を自治会へ配布してほしい。良い方法を検討してほしい。	・ 町に伝える。	・ 煙火の方法もあるが、危険をとまなうので講習が必要である。
観光関係	・ 本年は、東京オリンピック・パラリンピック開催年であり、海外からの観光客の来町も多くなることが予想されるが、インバウンド対策が遅れている。挨拶くらいは多言語でできるぐらいの対策が必要ではないか。		・ 町は外国人の多言語に対応できる翻訳カード等の用意がある。
	・ ふれあいビレッジで食とお茶をドッキングさせる。三保地区ではミツマタで和紙作りをするなど、体験型施設を清水・三保・共和に作り体験めぐりをするなどの観光に付加価値をつけると面白い。	・	・ （仮称）山北スマートIC周辺土地利用構想では、自然共生型定住・観光ゾーンとして旧清水小中学校等の有効活用を考えている。自然学習や農業体験、サテライトオフィスなど水源拠点と都市住民の交流拠点としての機能を付加していきたい。また、三保小学校の跡地も同様な機能で有効活用が可能か検討したい。
	・ 小田原の諏訪の原公園は何もないのに来場者が多い。つぶらの公園はもっとPRするべきではないか。		
	・ 観光スポットとして新東名の橋を見ることができるスポットを作ったらよいのでは。	・	・ （仮称）山北スマートIC周辺土地利用構想では、自然共生型定住・観光ゾーンとして道の駅周辺には日本一のアーチ橋を眺める眺望施設の設置を考えている。
	・ つぶらの公園にリピートして来たくなるようなもっと魅力ある仕掛けを、例えば大野山とスライダーでつなげたり等何か工夫を。	・	・
	・ ふれあいビレッジにおおきなお釜をお風呂にして設置する計画をたてていたが台風で中止に。ふれあいビレッジの場所も問題がある。	・	・
	・ 簡保の跡地はどうなっているのか、温泉はまだでるのか。	・ キャンプ場をつくる民間があるともきくが、課題がある。温泉は現在休止中である。	・
	・ 清水地区の財産は不老山。そのことを行政は全く理解してくれていない。清水地区の観光を謳うなら不老山は外せない。	・	・

令和元年度実施 議会報告会・車座集会 参加者意見のまとめ

開催日:令和2年1月29日

場所:清水ふれあいセンター

開催地区:清水地区

項目	参加者意見	当日の答弁	調査結果（町回答）
公共施設関係	・ 清水小中跡地を清水地域の複合型施設へ集約してみては。支所、診療所、コミュニティ施設、ビジネス拠点など。	・	・（仮称）山北スマートIC周辺土地利用構想では、自然共生型定住・観光ゾーンとして旧清水小中学校等の有効活用を考えている。自然学習や農業体験、サテライトオフィスなど水源拠点と都市住民の交流拠点としての機能を付加していきたい。また、三保小学校の跡地も同様な機能で有効活用が可能か検討したい。
	・ 学校機能がないのは致命的。交通機関も含め、若者は移住しない。	・	・
	・ 医療法人や老人ホーム、文化人、アーティストなどの積極的な誘致に努めては。外部パワーを利用し地域発展につなげてみては。	・	・
人口対策関係	・ 山北町の人口は更に減少することが予想される。一方小山町では、企業誘致により労働力不足が心配されている。山北に住み、西方面に働きに行かれるよう砂利採取場跡地をミニタウンにしたらどうか。		
総務・その他	・ ダムができて、下流の生態系が変わってしまい魚が減少している。山北町を中心に酒匂川流域各自治体が、県に働きかけて欲しい	・	・
	・ 自治会要望をだしてもなかなか叶えてもらえない。議員でも目を通して検討してほしい。	・ 自治会要望の事案の内容や進捗状況の確認は議員として充分認識していく。	・ 自治会要望は自治会からという制度で行われている。
幼児・こども・子育て関係	・ スクールバスに乗る児童は学童保育が利用できない。	・ 学童保育の児童は親が迎えに行くことが原則となっている。	・ 学童保育の児童は親が迎えに行くことが原則となっている。
	・ 開成町の学童保育は何時までか。遅い時間まで預かってくれるのか。	・ 開成町は民間委託で午後6時迄だが、延長保育は午後7時30分迄。 山北町は町が運営で午後7時迄だが、延長保育は午後7時30分迄。	・ 開成町は民間委託で午後6時迄だが、延長保育は午後7時30分迄。 山北町は町が運営で午後7時迄だが、延長保育は午後7時30分迄。
高齢・障がい者・関係	・ 富士急湘南バスの発行しているシルバー定期券の差額（8,200円）を個人負担することで、町が支援している福祉タクシー券との選択制にして貰いたい。 ※シルバー定期券26,200円/年 ※福祉タクシー券 18,000円/年（清水、高松地区）	・	・ 町の福祉タクシー券制度による支給額 ※三保地区・・・24,000円/年間 ※清水・高松地区・・・18,000円/年間 ※共和地区・・・6,000円/年間 タクシー券を富士急バスに流用できるようになる。（令和2年度より） 富士急バスの定期券購入への流用は今後の検討課題である。議会として町には提案済である
議員のなり手・報酬・定数関係	・ 定数問題はどうなっているのか	・ 定数問題については、改めて議論していく 町民と対話し、理解を得ていきたい 議会改革を進め信頼される議会にしていきたい	・
あり方・その他	・ 気軽に意見が言えて良い。 おしゃべりカフェ、車座形式での意見交換共に良い。	・	・
	・ スピード感をもって対応できるように、議員を情報の収集班と処理班に分けて対応したらどうか。	・ 早目に回答できるよう努力する。	・
	・ 車座集会は各人が必ず意見を出せるのでありがたい。議会も変わってきたなと感じる。	・	・